



TOPICS



ふるさと便の商品をPR

7/24

ふるさとの夏の 香感じて 一関ふるさと便 実行委員会

一関ふるさと便「夏の便」の出発式を開き、ふるさとの味と香りが消費者の元へ無事届くことを願いました。期間中は、一関地域で生産されたリンドウやりんごジュース、とまとジュース、管内産米「ひとめぼれ」「金色の風」「銀河のしずく」が全国に向け発送されました。

7/24

限られた資源を活用して J A 女性部花泉中央支部



眼鏡ケースの完成を喜ぶ部員

家の光記事を活用し、捨ててしまいがちな端切れ布を持ち寄り、持ち運びに便利な眼鏡ケースを作りました。部員は、限られた資源を効率よく使い、地球に優しい方法で物作りをすることや、繰り返し使うことで資源を循環させる大切さを実感しました。

7/30

及川さんの去勢牛最高賞 いわて南牛振興協会



名誉賞の表彰を受ける及川さん

第16回いわて南牛枝肉共励会を東京食肉市場で開き、出品された36頭から最高賞の名誉賞に及川正一さん（藤沢）の去勢牛が輝きました。肉質の良さが高く評価されました。5等級に30頭、4等級に4頭が格付けされ、上物率は97・2%となりました。

7/25

Jクレジット意見を交換



佐藤組合長から要請書を提出

立憲民主党の農林水産キャリアバン in 岩手がJA米集出荷センター輝で開かれました。国会議員や県議会議員とJAのJ-クレジットの取り組みなどについて意見を交わした他、佐藤一則組合長が一関地方の農業の維持・継続・発展に向けた要請書を手渡しました。

7/24

集会所の梅で梅干し作り 中里6区農家組合（一関）



赤シソの葉のもぎ取りをする参加者

中里6区集会所（さわか）内にある梅の木で今年も約70kgの梅の収穫があり、女性部員8人が、梅干し作りをしました。赤シソの葉をもぎ取り、塩もみをし、塩漬けしていた梅に漬け込みました。出来上がった梅干しは、地域住民や企業など約100人に配布します。

8/1

信頼される 米産地目指し 一関地方良質米生産 協議会

令和6年度いわて平泉米生産者大会を開き、米の生育状況や米穀情勢、新たな米の集荷対策「シン方式」について説明し、いわて平泉米のブランド確立に向けて意識統一を図りました。大会後には全体研修を行い、高温下での水稲栽培などについて学びを深めました。



あいさつする佐藤一則組合長㊦

8/2

地域農業や JAに触れて



スイカのうちわ作りを体験した子どもたち

ちやぐりんキッズフェスタを農家体験民宿古民家薄衣で開きました。民宿オーナーでピーマン農家の千葉健司さん（川崎）の指導でピーマンの収穫を体験し、ちやぐりん8月号に掲載の「スイカのうちわ」を作成。終了後には、古民家の2階や屋根裏を見学しました。

8/1

高温時の管理作業を確認 JAピーマン部会



ピーマンの生育状況を確認する生産者

現地指導会を管内6会場で開催しました。高温が続いていることから、ハウス内の高温対策や発生が多く見られているタバコガ類の防除について確認しました。害虫の発生が目立つことから、出荷物に混入しないようしっかりと防除することを呼び掛けました。

8/5

農作業通じ地域農業学ぶ



農作業をするJA職員

JA職員農業研修が管内の園芸農家で行われ、入組2年目の職員が小菊やトマト農家で収穫や出荷調製作業に汗を流しました。JA畜産課の八重樫海音職員は「出荷最盛期の作業はとて大変だったが、通常業務では体験できない内容で有意義だった」と話しました。

8/1

クレームゼロ実現に向け JAなす生産部会



搬入されたナスを見ながら意見交換する生産者

地区別出荷目ぞろえ会を5日間にわたり開き、品質の高位平準化とクレームゼロに向け意識統一を図りました。JA園芸課の菊池亮職員が「果実にポリウム感を持たせることが大事。品質を落とさないよう出荷してほしい」と呼び掛け、部会員間で情報交換しました。



ラップサイレージに文字を描く部会員

8/7

牛乳の消費拡大を願って

J A酪農部会

一関市東台の放牧地に設置したラップサイレージに「今日も一日交通安全！牛乳飲んで毎日元気！」のメッセージを、5色のカラーズプレーで目立つように色付けて描きました。「交通安全」と「管内の牛乳を積極的に飲んでほしい」との願いが込められています。



苗を見ながら情報交換する生産者

8/2

イチゴ育苗高温に注意を

J Aいちご生産部会

育苗指導会を滝澤幸夫さん（花泉）の圃場で開きました。高温下での育苗と定植となるため、かん水や肥培管理、病害虫防除などの管理を徹底することを確認しました。菅原修さん（花泉）は「暑い時期で大変だが、丈夫な苗を作って定植を迎えたい」と話しました。

8/3

地域の夏祭りを盛り上げ



一関夏まつり大会役員に管内の花を手渡しPR

第71回一関夏まつりのくるくる踊り大パレードにJ A 役職員が参加し、そろいの浴衣姿で息の合った手踊りを披露しました。見物に訪れた沿道の観客には、リンドウと小菊の花束を振る舞い、管内の花をPRしながら、地域の祭りを盛り上げました。



受賞を喜ぶ7区自治会員とJ A関係者

8/11

J A組合長賞に7区自治会

藤沢野焼祭実行委員会

縄文の炎・藤沢野焼祭2024が開かれ、市内外から出品された作品約700点の中から、J A 組合長賞に藤沢町7区自治会の「子供達に合にきたスーパードジラ」が選ばれました。7区自治会には、高橋敬之常務から賞状とりんごジュースが贈られました。

8/10

花泉夏まつり手踊り披露



手踊りを披露するJ A 職員

花泉夏まつり手踊り大競演にJ A 役職員が参加し、浴衣や法被に身を包み、息の合った踊りを披露しました。花泉夏まつりは、コロナ禍のため中止が続いていましたが昨年復活。一関市民の新しい踊りこちやこい踊りや果報餅まきなどにぎわいを見せました。

8/19

**成熟早め
鮮度重視で収穫**
JA果樹部会梨専門部



果実品質を調査し意識統一を図った目ぞろえ会

梨出荷目ぞろえ会を開き、収穫時期の目安や今後の栽培管理を指導し、令和6年度の取扱要領や選果規格などを確認しました。今年産の梨の生育は順調で、高温の影響で成熟が早まる見込み。糖度を確認しながら鮮度重視の収穫を行うよう意識統一を図りました。

8/23

台風に注意し管理徹底を
JAミニトマト部会



ミニトマトの状態を確認する生産者

ミニトマト栽培指導会を管内2会場で開き、栽培管理や搬入時の注意点を確認しました。主要産地が台風の被害を受けたことから、管内では注意を欠かさないよう意識統一を図り、実際に搬入されたミニトマトを手に取り選果基準の確認など情報共有を行いました。

8/15

ビールフェスで野菜PR
一関市



野菜を引き渡す一関市職員⑥

第27回全国各地ビールフェスティバル一関で提供される料理に使用する夏秋野菜の引き渡しを行いました。来場客に一関市の夏秋野菜をPRし、販売促進につながることを願い、希望する14店舗にJAのトマト・キュウリ・ナス・ピーマン計120箱を引き渡しました。

8/21

長寿を願いそば枕作り
JAハートフル花泉支部



そば枕を完成させる会員

花泉町内で今年米寿を迎える113人分のそば殻入り枕を手作りしました。参加した会員25人は長寿と健康を祈りながら、手分けして布を裁断しそば殻を詰める作業を行いました。完成した枕は、一関市社会福祉協議会花泉支部へ寄贈し、対象者へ届けられます。

8/22

高校生が農家で作業体験
千厩高等学校



小菊の後片付け作業を体験する生徒

生産技術科生産科学コース2年生12人は、管内の園芸農家で農家実習を行いました。トマトやキュウリ、ピーマン、小菊の園芸農家で栽培管理などを体験しました。千厩町の小菊農家には3人の生徒が配属され、小菊の収穫作業や後片付け作業を体験しました。